



平成24年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会 プログラム

開催日：平成25年2月19日(火)～2月20日(水)

入場無料

場 所：京都大学宇治キャンパス（宇治市五ヶ庄）

JR 奈良線黄檗駅から徒歩約5分 京阪宇治線黄檗駅から徒歩約6分

○平成25年2月19日(火)

所長挨拶	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：30～9：35
ゲスト講演	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	9：35～10：35
ハイライト講演	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	10：45～11：45
災害調査報告	きはだホール（宇治おうばくプラザ）	12：45～13：45
一般講演		14：00～17：30
ポスターセッション		9：30～17：30

○平成25年2月20日(水)

一般講演	9：00～12：00
ポスターセッション・コアタイム	12：00～14：00
一般講演	14：00～17：15
ポスターセッション	9：00～15：00
懇親会（会場：宇治生協会館）	18：00～20：00

一般講演会場

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)
19日(火) 14:00～17:30	地盤 (I)	大気・水 (I)	大気・水 (II)		地震・火山 (I)	
20日(水) 9:00～12:00	GCOE	大気・水 (III)	大気・水 (IV)	総合防災(I)	地震・火山 (II)	ポスター セッション (時間は上記)
20日(水) 14:00～17:15	地盤 (II)	大気・水 (V)	地震・火山 (III)	総合防災(II)	地震・火山 (IV)	

- A会場……きはだホール（宇治おうばくプラザ）
 B会場……セミナー室1+2（宇治おうばくプラザ）
 C会場……セミナー室4+5（宇治おうばくプラザ）
 D会場……国際交流室S-207D（防災研究所本館）
 E会場……大会議室S-519D（防災研究所本館）

※詳しい会場案内図は21ページをご参考ください。

平成 25 年 2 月 19 日 (火)
〈宇治おうばくプラザ きはだホール〉

9:30 所長挨拶

所長 中島正愛

ゲスト講演 9:35～10:35

9:35

「南海地震の予知に向けて」

京都大学名誉教授 梅田康弘

ハイライト講演 10:45～11:45

10:45

「地震防災の中長期的課題と戦略

－都市空間安全制御の観点から－」

教授 川瀬 博

昼食

災害調査報告 12:45～13:45

12:45

「2011 年タイ中部洪水災害調査報告」

准教授 竹林洋史

13:05

「陸域から海域への放射性セシウムの移行調査と予測」

准教授 山敷庸亮

13:25

「2012 年 5 月に北関東で発生した竜巻被害」

教授 丸山 敬

A 会場 一般講演 地盤（I） 平成 25 年 2 月 19 日（火） 14:00 ~ 16:45		休憩	A 会場 19 日 午後			
<p>14:00 A01 ジオシンセティッククレイライナーを用いた放射性物質を含む廃棄物封じ込め技術の開発 ○乾 徹・勝見 武・高井敦史・小川翔太郎・木村文昭</p> <p>14:15 A02 東日本大震災で発生した廃棄物混じり土砂の処理と復興資材としての適用性 ○勝見 武・Mohammed Nasir UDDIN・高井敦史・森田康平・山根華織・乾 徹</p> <p>14:30 A03 三軸せん断－保持－せん断過程における堆積岩のヒーリング現象とそのモデル化 ○岸田 潔・荒木壯則・菊本 統・安原英明・Derek ELSWORTH</p> <p>14:45 A04 岩石の急速な風化・侵食メカニズム：台湾南西部鮮新・更新統泥岩のバッドランドでの例 ○樋口衡平・千木良雅弘</p> <p>15:00 A05 遠心力場での一斉実験・一斉解析による地盤災害予測 井合 進</p> <p>15:15 A06 アーチカルバート盛土におけるカルバート縦断方向の地震時挙動に関する遠心模型実験 ○澤村康生・並川卓矢・岸田 潔・木村 亮</p>	<p>15:45 A07 アジア沖積地帯における地盤沈下被害防止を目的とした杭基礎に対する遠心模型実験 ○寺本俊太郎・Tirawat BOONYATEE・木村 亮</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">A08とA09は 発表取り下げ</p> <p>16:00 A08 遠心載荷実験による液状化地盤における鋼管杭の動座屈崩壊挙動 ○木村祥裕・田村修次・小野原公</p> <p>16:15 A09 大地震時における直接基礎建物の極限応答 ○田村修次・栗木 周</p> <p>16:30 A10 液状化と津波によるコンクリート建築物の倒壊メカニズムに関する遠心模型実験 ○飛田哲男・井合 進・大内俊介</p>	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	ポ ス タ ー

A 会場 20日 午前	<p style="text-align: center;">A 会場 一般講演 GCOE 平成 25 年 2 月 20 日 (水) 9:00 ~ 12:00</p>		<p>10:30 A17 Determination of Available Water Resources in Karstic Zones Under Climate Change Scenarios ○Josko TROSELJ · Yosuke YAMASHIKI · Kaoru TAKARA</p>
B 会場	<p>9:00 A11 Role of Concern Assessment in Flood Risk Communication ○Junho CHOI · Hirokazu TATANO</p>	<p>10:45 A18 Anomalous Atmospheric Events Leading to Kyushu's Flash Floods, 2012 ○Weili DUAN · Bin HE · Kaoru TAKARA · Pingping LUO · Yosuke YAMASHIKI</p>	
C 会場	<p>9:15 A12 Methodology for Disaster Risk Management Through Land Use Reform ○Lijiao YANG · Hirokazu TATANO</p>	<p>11:00 A19 Size Distributions of Precipitation Systems during the Jakarta Flood Event in 2007 Simulated by JMA-NHM ○余田成男 · 大塚成徳 · Nurjanna Joko TRILAKSONO</p>	
D 会場	<p>9:30 A13 Investigation on the Impacts of Volcanic Eruption on Flight Passengers and Cargos: A Case Study of Sakurajima Volcano ○玉置哲也 · 多々納裕一 · 梶谷義雄</p>	<p>11:15 A20 半乾燥地における衛星降水プロダクトの利用 ○石川裕彦 · 馬偉強</p>	
E 会場	<p>9:45 A14 Rate Effect on Soil Shear Strength Using Ring Shear Apparatus on Sand-clay Mixtures ○Maja OSTRIC · Kyoji SASSA · Yosuke YAMASHIKI · Kaoru TAKARA</p>	<p>11:30 A21 Assessment of High-resolution Ensemble NWP Rainfall for Flood Forecast of Relative Large River Basin in Japan ○Wansik YU · Eiichi NAKAKITA · Kosei YAMAGUCHI</p>	
ポ ス タ ー	<p>10:00 A15 A Basin-scale Spatial Distribution of Probable Maximum Precipitation for the Yodo River Basin, Japan. ○Nor Eliza ALIAS · Pingping LUO · Kaoru TAKARA</p> <p>10:15 A16 Assessment of the Historical Inundation Condition under the Paleo-environment ○Pingping LUO · Kaoru TAKARA · Bin HE · APIP · Weili DUAN · Maochun HU</p>	<p>11:45 A22 Relations of Fish and Bivalve Species Diversity to Historical Changes in Habitat Conditions of Floodplain Pools in the Kizu River ○Mikyong CHOI · Yasuhiro TAKEMON · Kindo IKEDA · Kazuhiro NISHII · Tetsuya SUMI</p>	

A 会場 一般講演 地盤（Ⅱ） 平成 25 年 2 月 20 日（水） 14：00～16：30		A 会場 20 日 午後
<p>14:00 A23 Experimental Examination on Soil Water Characteristic Curve of Loess in China ○ Yao JIANG・Wenwu CHEN・Guanping SUN・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI</p>	<p>15:45 A29 結晶片岩地すべり地の地下水年代測定例 ○末峯 章・日浦啓全・浅井和由・柳楽祐平・王 功輝</p>	
<p>14:15 A24 平成 24 年 7 月九州北部豪雨による阿蘇カルデラの流動性地すべり ○福岡 浩・松四雄騎・古谷 元・齋藤 仁</p>	<p>16:00 A30 山体重力変形の地表形態と内部構造 ○千木良雅弘・針山岳大</p>	
<p>14:30 A25 異常気象時の斜面変動現象：二畝ノ谷地すべりを例として ○王 功輝・末峯 章・松浦純生・新井場公德</p>	<p>16:15 A31 大起伏堆積岩山地の流れ盤斜面における重力変形と地質構造に規制された地下水流出 ○松四雄騎・山川陽祐・小杉賢一郎・正岡直也・糸数 哲</p>	C 会場
<p>14:45 A26 2011 年台風 12 号による崩壊発生初期過程の再検討 齊藤隆志</p>		D 会場
<p>15:00 A27 2011 年東北地方太平洋沖地震で発生した造成地盤地すべりの変動量観測 釜井俊孝</p>		E 会場
<p>15:15 A28 積雪地帯の斜面変動場における間隙水圧の変動特性 ○松浦純生・岡本 隆・阿部和時・岡田康彦・大沢 光・萩村俊司・中町 聡</p>		ポ ス タ ー
休憩		

A 会場	<p>B 会場 一般講演 大気・水 (I) 平成 25 年 2 月 19 日 (火) 14:00 ~ 17:30</p>	<p>15:45 B07 2010 年夏のロシアブロッキングのメカニ ズムと予測可能性 ○藤井 晶・黒田友二・向川 均</p>
B 会場 19 日 午後	<p>14:00 B01 偏波レーダーから推定した定性的降水 粒子情報の雲アンサンブル同化 ○山口弘誠・古田康平・中北英一</p> <p>14:15 B02 静止気象衛星を用いた雲粒有効半径の 観測 ○遠藤寛也・奥勇一郎・馬偉強・石川裕彦</p>	<p>16:00 B08 インド洋における熱帯低気圧の発生と 環境場への MJO の影響 ○坪井 彩・竹見哲也</p> <p>16:15 B09 インド亜大陸北東部に卓越する降水の 変動周期について ○梶川 藍・林 泰一・寺尾 徹・ 村田文絵・木口雅司・山根悠介・ 福島あずさ</p>
C 会場	<p>14:30 B03 台風が温低化後急速に再発達するとき の構造と環境場 ○高村奈央・石川裕彦</p> <p>14:45 B04 静力学気圧に基づく鉛直座標を用いた 非静力学大気力学コアの定式化 ○ Takeshi ENOMOTO・ Hann-Ming Henry JUANG</p>	<p>16:30 B10 Severe Local Storms in Bangladesh and Adjoining Indian Territory ○Fatima AKTER・Hirohiko ISHIKAWA</p> <p>16:45 B11 近年の大気中 CO₂ 収支と領域別フラッ クスの寄与について 井口敬雄</p>
D 会場	<p>15:00 B05 NCEP-GFS を用いた Atmospheric River の予報実験 ○宮地哲朗・榎本 剛・太田洋一郎・ 三好建正・Hann-Ming Henry JUANG</p>	<p>17:00 B12 浮遊火山灰拡散モデルの検証に関わる 現地計測 ○安田成夫・梶谷義雄</p>
E 会場	<p>15:15 B06 成層圏惑星規模波の下方伝播が北太 平洋ブロッキングの形成に及ぼす影響 ○向川均・小寺邦彦・藤井 晶</p>	<p>17:15 B13 瓦と正方形平板の 6 自由度の飛翔性状 に関する研究 ○岡崎純也・丸山 敬</p>
ポ ス タ ー	<p>休憩</p>	

B会場 一般講演 大気・水(Ⅲ) 平成25年2月20日(水) 9:00～12:00			
<p>9:00 B14 Experimental Study on Hydraulic Behavior of Storm Water in the Sewer Pipe with Manhole for Urban Inundation Analysis ○ SungSoo LEE・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Hao ZHANG</p> <p>9:15 B15 A Study on Debris Flow Capture Capacity due to the Arrangement of Sabo Dam ○ Namgyun KIM・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Hao ZHANG</p> <p>9:30 B16 Study on Characteristic Analysis of Closed-type Sabo Dam with a Flap due to Dynamic Force of Debris Flow ○ Yeonjoong KIM・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Hao ZHANG</p> <p>9:45 B17 GIS ベース土砂生産・土砂流出モデルの開発と適用 ○ 山野井一輝・河田暢亮・堤 大三・竹林洋史・宮田秀介・藤田正治</p> <p>10:00 B18 Comparing the In-ground Stilling Basin Performances: Movable Condition versus Clear Water Condition ○ Mohammad MESHKATI SHAHMIRZADI・Tetsuya SUMI</p>	<p>10:30 B19 水力発電設備の持続的使用を目的としたダム貯水池土砂管理 ○ 奥村裕史・角 哲也・竹門康弘</p> <p>10:45 B20 河川生息場の変動履歴分析のための河床地形モニタリング手法の開発 ○ 兵藤 誠・栗津陽介・竹門康弘・角 哲也・Zhaohui DENG</p> <p>11:00 B21 タリメント川における定点カメラ画像を用いた止水性生息場の履歴と水生生物群集の解析 ○ 寺田匡徳・渡辺幸三・W.BERTOLDI・A.M.GURNELL・K.TOCKNER・竹門康弘・角 哲也</p> <p>11:15 B22 予測流入量情報を用いたダム事前放流操作の影響分析手法に関する基礎的検討 ○ 天井洋平・野原大督・堀 智晴・角 哲也</p> <p>11:30 B23 水資源の変動を考慮した最適食糧生産管理に関する基礎的検討 ○ 岡本一真・吉弘昌史・堀 智晴・野原大督</p> <p>11:45 B24 道路上の信号制御を考慮した水害避難行動モデル ○ 花島健吾・堀 智晴・野原大督</p>	<p>A 会場</p> <p>B 会場</p> <p>20 日 午前</p> <p>C 会場</p> <p>D 会場</p> <p>E 会場</p>	<p>ポ ス タ ー</p>
休憩			

A 会場	<p>B 会場 一般講演 大気・水 (V) 平成 25 年 2 月 20 日 (水) 14:00 ~ 17:15</p>	<p>15:45 B31 A Study on the Development of the Rain-based Urban Flood Forecasting Method with X-MP Radar in Toga River Basin ○Seongsim YOON・Eiichi NAKAKITA</p>
B 会場 20 日 午後	<p>14:00 B25 乱流状態の転波列の空間的発達過程に関する研究 ○細田 尚・白井秀和・金澤直矢</p> <p>14:15 B26 斜面崩壊による段波の山地河川における伝播特性 ○竹林洋史・藤田正治・梶原哲郎</p>	<p>16:00 B32 Numerical Analysis of Groundwater Flow in Nile Delta Using Water Exchange Model between River and Aquifer ○Ahmed KAMAL・Toshio HAMAGUCHI・Tetsuya SUMI・Kenji TANAKA</p>
C 会場	<p>14:30 B27 山地流域における定量的な掃流砂量計測 ○堤 大三・野中理伸・水山高久・志田正雄・市田兎太郎・宮田秀介・藤田正治</p>	<p>16:15 B33 沿岸域帯水層塩水侵入平面モデル開発に間する基礎的研究 ○浜口俊雄・Ahmed KAMAL・角 哲也</p>
D 会場	<p>14:45 B28 河川環境のための河床地形管理手法に関する技術開発 ○角 哲也・竹門康弘・藤田正治・武藤裕則・竹林洋史・堤 大三・石田裕子・小林草平・Giyong OCK</p> <p>15:00 B29 大滝ダム下流の河床環境と底生動物群集に対する支川流入の効果 ○竹門康弘・森本昌日・小林草平・角 哲也</p>	<p>16:30 B34 RCM 実験結果を用いた日本沿岸の将来高潮予測 ○安田誠宏・片平成明・森 信人・間瀬 肇</p> <p>16:45 B35 ブロック型 AMR 法を用いた津波の計算 ○森 信人・千田 優・安田誠宏・間瀬 肇</p>
E 会場	<p>15:15 B30 京都盆地水系における地下水流動・水質への気候変動影響の定量的評価 ○城戸由能・北側有輝・中北英一</p>	<p>17:00 B36 日本初の浮体式洋上風力発電 -気象・海象解析- ○間瀬 肇・森 信人・安田誠宏</p>
ポ ス タ ー	<p>休憩</p>	

C 会場 一般講演 大気・水(Ⅱ) 平成 25 年 2 月 19 日 (水) 14:00 ~ 17:30			
<p>14:00 C01 台風経路の違いによる風水害への影響について 竹見哲也</p> <p>14:15 C02 T1112 (TALAS) の数値シミュレーション — 台風による紀伊半島での豪雨発生メカニズム — ○宮本佳明・竹見哲也・石川裕彦・堀口光章・筆保弘徳</p> <p>14:30 C03 2012 年 5 月 6 日につくば市付近で発生した竜巻の領域気象モデルによる再現実験 ○鶴沼 昂・竹見哲也</p> <p>14:45 C04 2012 年 5 月 6 日につくばで発生した竜巻中の飛散物の速度推定 丸山 敬</p> <p>15:00 C05 濃尾平野における夏季の降水特性について ○草川敬之・竹見哲也</p> <p>15:15 C06 伊勢湾の水文環境への温暖化影響について ○鈴木 靖・佐藤嘉展・本間基寛・道広有理</p>	<p>15:45 C07 木曾川水系統合流出解析モデルの高度化(Ⅱ) ○佐藤嘉展・本間基寛・鈴木 靖</p> <p>16:00 C08 大都市沿岸部における高潮氾濫シミュレーション ○澁谷容子・安田誠宏・金洙列・森 信人・間瀬 肇</p> <p>16:15 C09 砂浜地形の形成・涵養過程を読み解く試み: 物理探査手法の適用 ○東 良慶・平石哲也・関口秀雄</p> <p>16:30 C10 廃棄物海面処分場の維持管理の実態に関する全国踏査 ○足立一美・平石哲也・東 良慶</p> <p>16:45 C11 田辺湾底質コアに記録された津波、洪水イベントの歴史的評価とその地球化学的特徴 ○中川亮太・山崎秀夫・東 良慶・平石哲也</p> <p>17:00 C12 東南アジアの高濁度河川における粒状態重金属の化学形態およびその溶出可能性 山中千賀子・○吉村千洋・藤井 学・石川忠晴</p> <p>17:15 C13 木津川における底生動物生息場としての瀬の形態の歴史的変遷 ○小林草平・竹門康弘</p>	<p>A 会場</p> <p>B 会場</p> <p>C 会場 19 日 午後</p> <p>D 会場</p> <p>E 会場</p>	<p>ポ ス タ ー</p>
休憩			

A 会場	<p style="text-align: center;">C 会場 一般講演 大気・水 (IV) 平成 25 年 2 月 20 日 (水) 9 : 00 ~ 12 : 00</p>	<p>10:45 C21 淀川遡上津波の橋梁堰上げ効果に関する三次元数値解析 ○国領 優・米山 望</p>
B 会場	<p>9:00 C14 陸面過程による農業水使用量とアラル海の消長に関する応答分析 ○峠 嘉哉・田中賢治・中北英一</p>	<p>11:00 C22 橋桁に作用する津波波力の数値計算 米山 望・○直田 梓</p>
C 会場 20 日 午前	<p>9:15 C15 タイ国・チャオプラヤ川における長期水収支解析に関する研究 ○Shunji KOTSUKI・Kenji TANAKA・Daisuke KOMORI</p>	<p>11:15 C23 偶発波浪に対するカウンターウェイトブロック工法の適用に関する検討 平石哲也・○川田達也</p>
D 会場	<p>9:30 C16 佐用川流域における洪水氾濫統合解析システム構築に関する基礎的研究 ○戸田淳治・浜口俊雄・田中賢治</p>	<p>11:30 C24 カウンターウェイトブロックの津波減災効果に関する基礎実験 ○松下紘資・平石哲也</p>
E 会場	<p>9:45 C17 領域気候モデルを用いた気候変動に伴う梅雨期集中豪雨の将来変化予測に関する研究 中北英一・○宮宅敏哉</p>	<p>11:45 C25 網式消波ユニットの耐波安定性に関する基礎実験 平石哲也</p>
ポ ス タ ー	<p>10:00 C18 海面温度アンサンブル実験における波浪の将来変化予測 ○志村智也・森 信人・安田誠宏・間瀬 肇</p>	
	<p>10:15 C19 海洋モデル ROMS を用いた瀬戸内海の物理環境のシミュレーション ○田中悠祐・森 信人・二宮順一・安田誠宏・間瀬 肇</p>	
	<p>10:30 C20 ROMS を用いた波浪の吹送流への影響評価 ○二宮順一・森 信人・安田誠宏・間瀬 肇</p>	

<p style="text-align: center;">C 会場 一般講演 地震・火山(Ⅲ) 平成 25 年 2 月 20 日(水) 14:00 ~ 15:00</p>		A 会場
<p>14:00 C26</p>	<p>桜島火山昭和火口の噴火に伴う前駆地震の特徴</p>	
<p>○為栗 健・井口正人</p>		
<p>14:15 C27</p>	<p>地震及び地盤変動観測による火山灰放出率のリアルタイムモニタリング</p>	B 会場
<p>井口正人</p>		
<p>14:30 C28</p>	<p>桜島火山の地震波反射構造変化(2008-2011)</p>	C 会場
<p>○筒井智樹・井口正人・為栗 健・高山鐵朗・園田忠臣・桜島火山反復地震探査グループ</p>		20 日 午後
<p>14:45 C29</p>	<p>桜島火山周辺における水準測量(2012年11月・12月)</p>	
<p>○山本圭吾・園田忠臣・高山鐵朗・市川信夫・太倉敬宏・横尾亮彦・吉川 慎・井上寛之・諏訪博之・松島 健・藤田詩織・神蘭めぐみ</p>		D 会場
		E 会場
		ポ ス タ ー

A 会場	<p style="text-align: center;">D 会場 一般講演 総合防災（Ⅰ） 平成 25 年 2 月 20 日（水） 9：00～12：00</p>	<p>10:45 D08 水害時における建物被害認定調査手法構築に向けた検討－京都府南部豪雨における宇治市を事例として－ ○小松瑠実・村上滋希・牧 紀男・林 春男</p>
B 会場	<p>9:00 D01 常時微動を用いた大阪平野南部における地盤構造の推定 ○飛田幸樹・川瀬 博・松島信一</p> <p>9:15 D02 小規模災害における ICT を用いた罹災証明発給マネジメントの分析 京都府南部豪雨を事例として ○村上滋希・小松瑠実・牧 紀男・林 春男</p>	<p>11:00 D09 動画 カルテの開発・作成を中心とした防災活動に対する考察 ○孫英英・矢守克也・近藤誠司</p> <p>11:15 D10 属地的アーティファクトと住民のアイデンティティ形成に関する理論的・実証的研究：復興まちづくりへの示唆 ○小谷仁務・横松宗太</p>
C 会場	<p>9:30 D03 大規模災害が観光需要に与える影響の評価方法の検討：パネルデータ結合アプローチ ○西村泰紀・梶谷義雄・多々納裕一</p>	<p>11:30 D11 マイクロメディアサービスによる災害情報提供システムの開発 ○周 瑜・林 春男</p>
D 会場 20日 午前	<p>9:45 D04 西南日本における想定南海トラフ巨大地震の強震動予測及びそれによる建物被害推定 ○宝音図・川瀬 博・松島信一</p>	<p>11:45 D12 減災の正四面体モデルにおける社会的なリアリティ ～信と知の乖離を超克するために～ ○近藤誠司・矢守克也</p>
E 会場	<p>10:00 D05 原子力リスク下における新エネルギー開発投資モデル －空間的異質性に着目して－ ○和田尚之・横松宗太</p>	
ポ ス タ ー	<p>10:15 D06 The Impact of Disasters on Japan's Inbound Tourism Demand ○呉麗慧・林 春男</p> <p>10:30 D07 スペクトルインバージョン手法に基づく強震動特性の統計的性質に関する研究 ○仲野健一・川瀬 博・松島信一</p>	

<p style="text-align: center;">D 会場 一般講演 総合防災(Ⅱ) 平成 25 年 2 月 20 日(水) 14:00 ~ 17:15</p>		A 会場
<p>14:00 D13 港湾物流 BCP における外貿コンテナ 貨物の需給関係 ○赤倉康寛・小野憲司</p>	<p>15:45 D19 阿武山観測所サイエンス・ミュージアム 化構想 ○米田 格・矢守克也・飯尾能久・ 城下英行・平林英二</p>	B 会場
<p>14:15 D14 南海トラフ巨大地震の発生時間帯と京 阪神都市圏における震度暴露人口の 関係 ○樋本圭佑・寶 馨</p>	<p>16:00 D20 東日本大震災における港湾物流への インパクトと海運・港湾部門のレジリ エンス機能 ○小野憲司・赤倉康寛</p>	
<p>14:30 D15 火山噴火が航空ルートに与える影響と そのリスクガバナンス方式に関する考察 ○小野寺三郎・井口正人・梶谷義雄・ 澤田可洋・多々納裕一・田中 博・ 玉置哲也・安田成夫</p>	<p>16:15 D21 東北地方太平洋沖地震での大加速度 記録観測点周辺における臨時余震観 測記録の分析 ○松島信一・長嶋史明・川瀬 博・早川 崇・ 佐藤智美・大島光貴・Florent DE MARTIN</p>	C 会場
<p>14:45 D16 A Study on Tools towards Awareness- raising for Disaster Risk Preparedness and Building Resilience in Croatia ○Naoko KIMURA・Yosuke YAMASHIKI・ Ivika KISIC</p>	<p>16:30 D22 電力使用制限が企業の生産活動に与え る影響について ○梶谷義雄・横松宗太・多々納裕一・ 安田成夫</p>	D 会場 20 午後
<p>15:00 D17 復興曲線を用いた長期的復興に関する 研究 宮本 匠</p>	<p>16:45 D23 これからの減災研究実践 -京大防災 研・減災社会プロジェクトのねらい- ○矢守克也・宮本 匠・近藤誠司</p>	E 会場
<p>15:15 D18 開発途上国の農村地域におけるイン フォーマル取引と災害脆弱性に関する 一考察 ○横松宗太・張詩雨</p>	<p>17:00 D24 エージェント技法を用いた津波避難評 価システムの開発 ○畑山満則・白井真人</p>	
<p>休憩</p>		ポ ス タ ー

A 会場	<p style="text-align: center;">E 会場 一般講演 地震・火山 (I) 平成 25 年 2 月 19 日 (火) 14:00~17:30</p>	<p style="text-align: center;">休憩</p>
B 会場	<p>14:00 E01 Dynamic Strain Monitoring for Local Damage Detection in Steel Structures: Part I. Methodology ○Masahiro KURATA・Xiaohua LI・Kohei FUJITA・Mayako YAMAGUCHI</p>	<p>15:45 E07 鋼構造建物の床スラブ付柱梁接合部における損傷進行時の振動特性変化 ○野澤 貴・峰岸 楓・Zhenyun TANG・Yunbiao LUO・林 和宏・倉田真宏</p>
C 会場	<p>14:15 E02 A Feasibility Study on Performance of X-Shaped Steel Links in Slitted Steel Shear Walls as a Means of Structural Condition Assessment ○Liusheng HE・Kei FUKIHARA・Kazuhiro HAYASHI・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA</p>	<p>16:00 E08 Improved Analytical Model for Special Concentrically Braced Frame ○Po-Chien HSIAO・Dawn E. LEHMAN・Charles W. ROEDER</p> <p>16:15 E09 Application of Real-time Substructure Testing to Soil Structure Interaction System ○Zhenyun TANG・Zhenbao LI・Dietz MATT・Masahiro KURATA</p>
D 会場	<p>14:30 E03 中低層建築の耐震性向上を目的とした集成材床スラブシステムの実験的研究 ○前田和沙・藤岡将利・河野 進・坂下雅信・田中仁史・楠 寿博・木村秀樹</p> <p>14:45 E04 木パネル補剛スリット入り鋼板耐震壁のエネルギー消費能力と耐震設計 ○中島正愛・谷口雄大・林 和宏・伊藤麻衣・倉田真宏</p>	<p>16:30 E10 Dynamic Strain Monitoring for Local Damage Detection in Steel Structures: Part II. Test Results ○Xiaohua LI・Masahiro KURATA・Kohei FUJITA・Mayako YAMAGUCHI</p>
E 会場 19日 午後	<p>15:00 E05 Impedances for the Adoption of Isolated High-rise Buildings in the US ○Tracy C. BECKER・Sachi FURUKAWA・Stephan A. MAHIN・Masayoshi NAKASHIMA</p>	<p>16:45 E11 超高強度鋼を用いた中空 CFT 柱部材の曲げ圧縮実験 ○Kazuhiro HAYASHI・Ryusuke ENOMOTO・Xuchuan LIN・Ryousuke NISHI・Po-chien HSIAO・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA</p>
ポ ス タ ー	<p>15:15 E06 Mechanism of Force Transfer of SFRCC Slabs in Beam-to-column Connections ○Yunbiao LUO・Kazuhiro HAYASHI・Xuchuan LIN・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA</p>	<p>17:00 E12 Numerical Analysis on Evaluation of Collapse Margin of High-Rise Steel Buildings under Extremely Strong Earthquakes ○Xuchuan LIN・Takashi NOZAWA・Masayoshi NAKASHIMA</p>

E02とE10は
発表順入れ替え

17:15 E13

Semi-active Controlled Floor Isolation System for Accommodating Live Load Changes

○ Yundong SHI · Tracy BECKER · Masahiro KURATA · Masayoshi NAKASHIMA

A
会場

B
会場

C
会場

D
会場

E
会場

19日
午後

ポ
ス
タ
ー

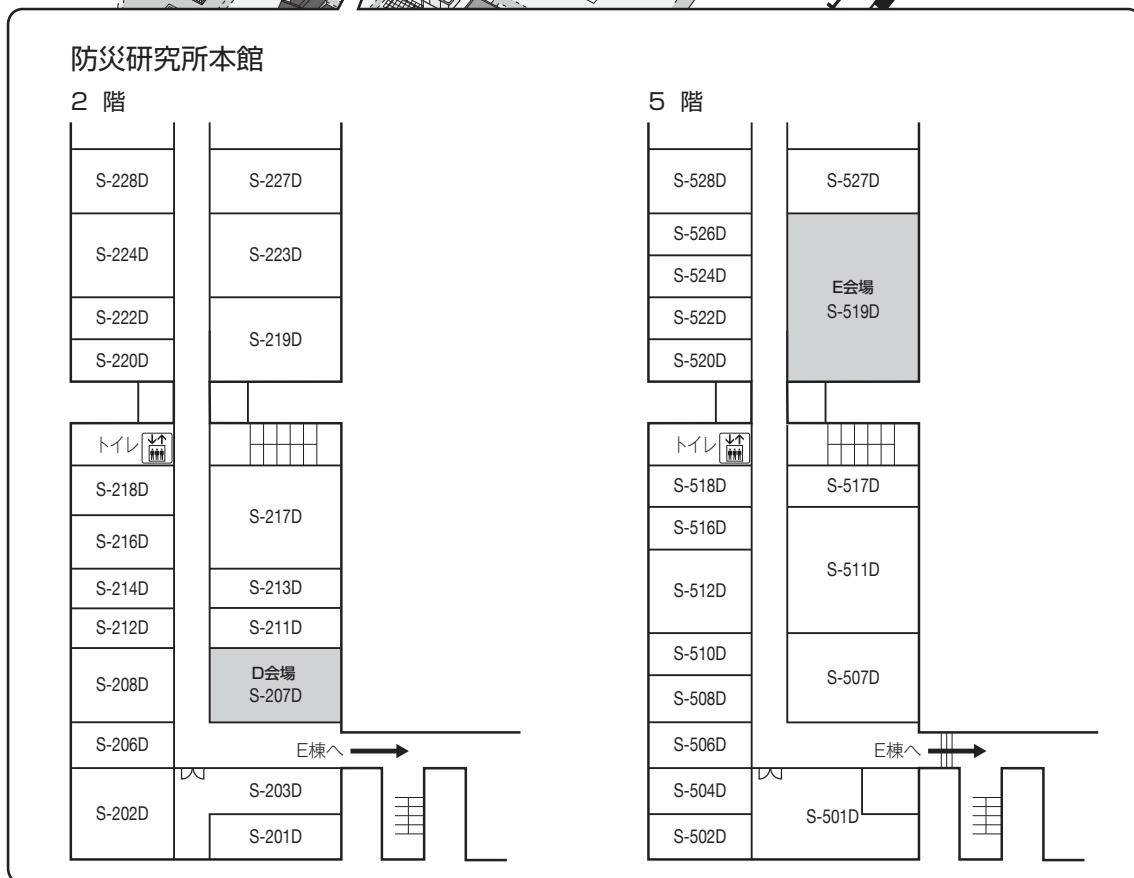
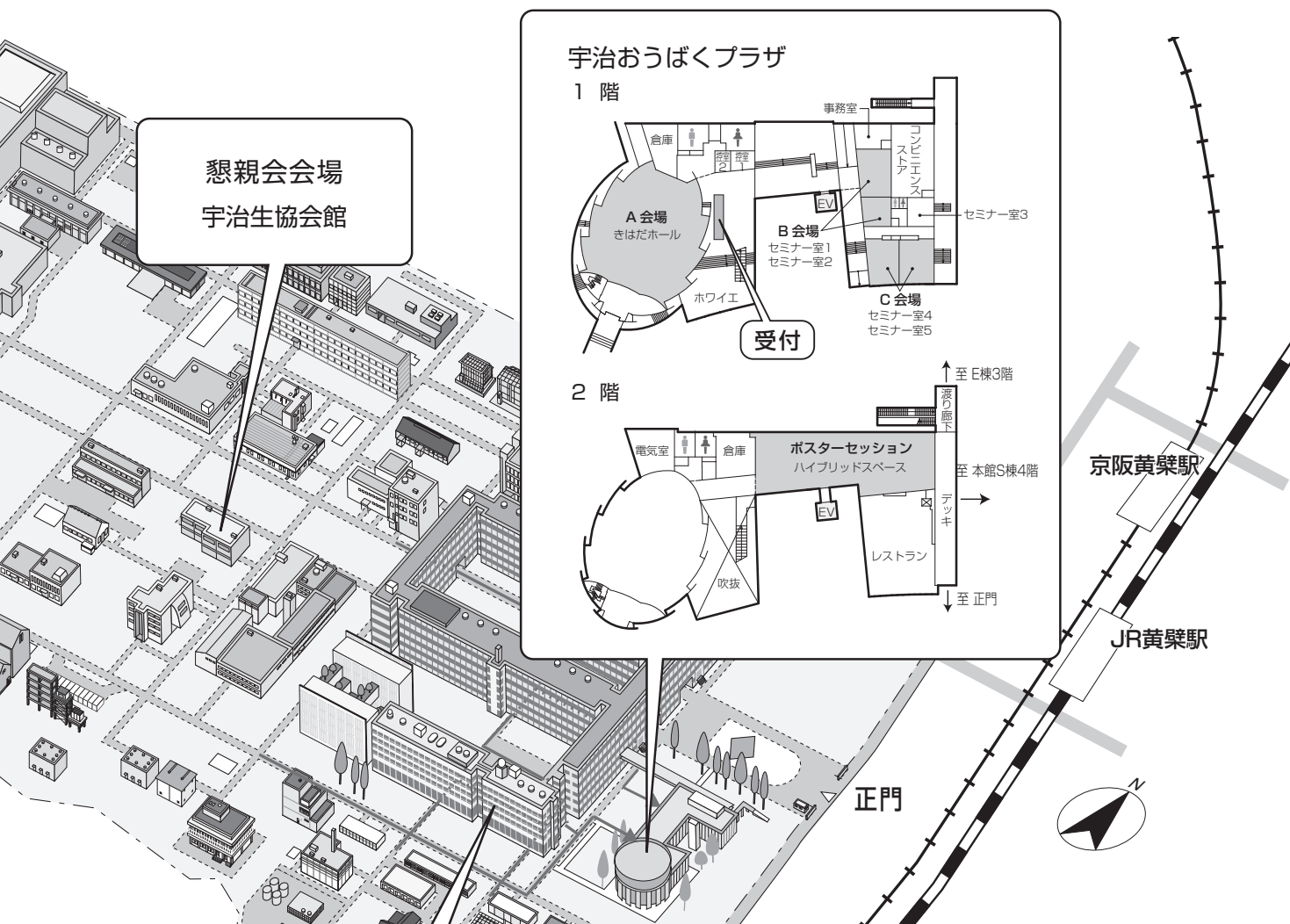
A 会場	E 会場 一般講演 地震・火山(Ⅱ) 平成 25 年 2 月 20 日 (水) 9:00~12:00		10:45 E21 近畿地方北部における地殻内 S 波反射構造の推定 ○青木 将・飯尾能久・片尾 浩・三浦 勉・米田 格・中尾節郎・西村和浩・澤田麻沙代・近藤和男・坂 靖範・佐々木裕樹・土井一生
B 会場	9:00 E14 南海トラフ巨大地震モデルと地震科学の限界 橋本 学	11:00 E22 南九州下に沈み込むフィリピン海プレートのイメージング(2) ○澁谷拓郎・寺石眞弘・小松信太郎・山崎健一・大倉敬宏・吉川 慎・安部祐希・井口正人・為栗 健・園田忠臣・市川信夫・三浦 勉	
C 会場	9:15 E15 京都盆地の 1000 年の時間スケールの災害リスク: 歴史都市防災研究所のために ○川崎一朗・岡田篤正・諏訪 浩・吉越昭久	11:15 E23 山陰地方地震帯とその周辺における応力場の空間変化と 3D 地震波速度構造 ○岸本信二・飯尾能久・片尾 浩・近藤和男・渋谷拓郎・中尾節郎・坂 靖範・三浦 勉・米田 格	
D 会場	9:30 E16 弘化四年(1847) 善光寺地震について 五島敏芳・服部健太郎・加納靖之 ○中西一郎・植草眞之介・渡辺周平・安国良一	11:30 E24 地殻・上部マントルの 3 次元比抵抗構造から診る沈み込み帯の流体移動と島弧火山(3) ○畑 真紀・大志万直人・吉村令慧・田中良和・上嶋 誠・九州地域 Network-MT 研究グループ	
E 会場	9:45 E17 2011 年東北地方太平洋沖地震の余震被害調査報告 ○山田真澄・福島康宏・後藤浩之	11:45 E25 2006 年昭和火口噴火活動再開に先行する桜島火山の地盤変動の特徴について ○堀田耕平・大倉敬宏・井口正人・山本圭吾	
20 日 午前	10:00 E18 2011 年東北地方太平洋沖地震の初期における動的破壊過程 内出崇彦 10:15 E19 2011 年東北沖地震前の三角・三辺測量と GPS 測量による歪速度の比較 ○福島 洋・橋本 学・Paul SEGALL	(E19とE31は発表順入れ替え)	
ポ ス タ ー	10:30 E20 強震記録と GPS データによって推定される 2011 年茨城県沖地震 (Mw7.9) の震源過程 ○久保久彦・浅野公之・岩田知孝		

E 会場 一般講演 地震・火山(Ⅳ) 平成 25 年 2 月 20 日(水) 14:00~17:15			A 会場
<p>14:00 E26 姉川流域における地下構造及び水文地形学的特性が地震動に及ぼす影響について ○松波孝治・齊藤隆志・岡本 茂・竹本哲也・井川 猛・松波末和</p> <p>14:15 E27 上町断層帯における重点的な調査観測について(3) ○岩田知孝・上町断層帯重点観測研究グループ</p> <p>14:30 E28 大阪堆積盆地 3 次元地盤構造モデルの改良 ○関口春子・浅野公之・吉見雅行・堀川晴央・竿本英貴・林田拓己・岩田知孝</p> <p>14:45 E29 大阪盆地における微動 H/V スペクトルの多点観測による盆地速度構造モデルの検証と改良 ○浅野公之・岩田知孝・関口春子・宮腰 研・西村利光</p> <p>15:00 E30 地盤の非線形を考慮した地震動 H/V スペクトル比の適用性に関する研究 ○長嶋史明・川瀬 博・松島信一</p>	<p>15:45 E32 地盤増幅特性評価に基づく実時間地震動予測 干場充之</p> <p>16:00 E33 高周波 GPS 精密測位で地震波を測る ○Peiliang XU・Chuang SHI・Rongxin FANG・Jingnan LIU・Xiaoji NIU・Quan ZHANG・Takashi YANAGIDANI</p> <p>16:15 E34 長野県西部地震の断層近傍の詳細な応力場 飯尾能久</p> <p>16:30 E35 跡津川断層周辺の三次元応力蓄積過程の推定 ○高田陽一郎・片尾 弘・飯尾能久</p> <p>16:45 E36 雑微動の再解析による 2007 年能登半島地震に伴う震源域周辺の地震波速度変化 大見士朗</p> <p>17:00 E37 比抵抗からみる内陸地震震源域周辺の不均質構造 - 2007 年能登半島地震を中心に ○吉村令慧・大志万直人</p>	<p style="text-align: center;">B 会場</p> <p style="text-align: center;">C 会場</p> <p style="text-align: center;">D 会場</p>	<p style="text-align: center;">E 会場 20 日 午後</p>
休憩	E19とE31は 発表順入れ替え		ポ ス タ ー

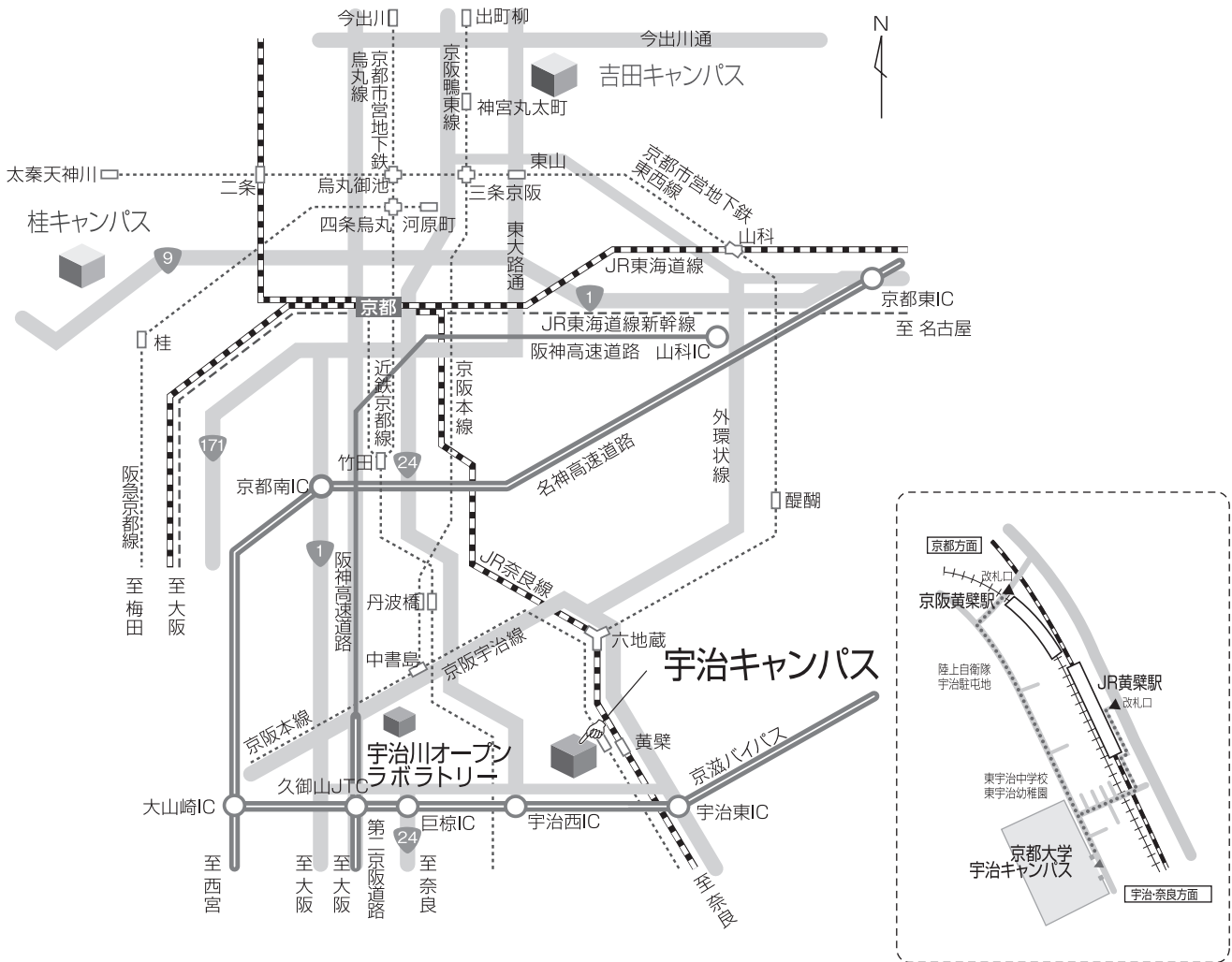
A 会場	<p style="text-align: center;">ポスターセッション</p> <p>平成 25 年 2 月 19 日 (火) 9:30~17:30 平成 25 年 2 月 20 日 (水) 9:00~15:00</p> <p style="text-align: center;">ポスターセッション・コアタイム</p> <p>平成 25 年 2 月 20 日 (水) 12:00~14:00</p>	P08	<p>ポスト・東日本大震災における津波防災の課題の体系化 ○河田慈人・矢守克也</p>
B 会場	<p>P01 土砂災害発生予測のための強風時における融雪モデル ○萩村俊司・松浦純生・千木良雅弘・竹見哲也・中町 聡・阿部 修・上石 勲・平島寛行・岡本 隆</p>	P09	<p>復興過程における被災住民とマスメディアの関係性 ~「明星災区」概念の茨城県大洗町への適用~ ○李フシン・矢守克也・近藤誠司</p>
C 会場	<p>P02 Physical Modeling of Creep Behaviors and Rainfall-induced Landslide Early Warning ○Atitkagna DOK・Hiroshi FUKUOKA・Takeshi KATSUMI・Toru INUI</p>	P10	<p>統合水質指標に関する研究 ○寺本智子・山敷庸亮・寶 馨</p>
D 会場	<p>P03 2009 年パダン地震が誘発した降下軽石堆積物の崩壊メカニズム ○中野真帆・千木良雅弘</p>	P11	<p>3D Numerical Study of Time Dependent Bed Changes in the Flushing Channels for Free Flow Sediment Flushing in Reservoirs ○Taymaz ESMAEILI・Tetsuya SUMI・Yasuhiro TAKEMON</p>
E 会場	<p>P04 レシーバ関数解析から推定された紀伊半島下のフィリピン海スラブ周辺の構造 ○今井基博・澁谷拓郎・中尾節郎・平原和朗</p>	P12	<p>Spatial Assistant Agent for Commander of Earthquake Emergency Response ○Reza NOURJOU・Michinori HATAYAMA</p>
ポ ス タ ー	<p>P05 2011 年東北地方太平洋沖地震震源直下のプレート境界深部でのすべり分布の拘束 ○千葉慶太・飯尾能久・深畑幸俊</p> <p>P06 東北地方太平洋沖地震の前後で観測された間隙水圧とその潮汐・大気圧応答の時間変化 ○木下千裕・加納靖之</p> <p>P07 2012 スマトラ北部西方沖地震(Mw8.6)における地震波エネルギーの推定 ○木内亮太・James Jiro MORI</p>	P13	<p>地球温暖化問題への大学生の知識と意識に関するアンケート調査の報告 小石和成</p>
		P14	<p>Application of Data Mining Models in Prediction of Wave-induced Scour Depth around Piles ○Samaneh GHAZANFARI HASHEMI・Testuya HIRAISHI</p>
		P15	<p>Simulation of Slope Failures and Sediment Runoff in a Basin Scale ○陳振宇・藤田正治</p>

<p>P16 空隙率と粒度分布が河床強度に与える影響について ○上戸亮典・竹林洋史・藤田正治</p>	<p>P24 北野天満宮の石灯笼に記録された京都市街の歴史地震動 ○加藤 護・日岡 惇</p>	<p>A 会場</p>
<p>P17 Effect of Seepage Flow on Erosion Process of Bank Which is Composed of Non-cohesive Material ○Ahmed ALYDIEN・竹林洋史・藤田正治</p>	<p>P25 「満点計画」による近畿地方北部の地震活動と地殻構造 ○片尾 浩・三浦 勉・飯尾能久</p>	
<p>P18 固定床上の水制の設置角度の違いが流れ場・流砂・河床変動特性に与える影響 ○久加朋子・竹林洋史・藤田正治</p>	<p>P26 2011年霧島新燃岳噴火に関連した伊佐(吉松)観測室における歪変化(Ⅱ) ○寺石眞弘・石原和弘・山崎健一・小松信太郎</p>	<p>C 会場</p>
<p>P19 降雨特性が斜面崩壊に与える影響 ○一貫田悟司・堤 大三・陳振宇・藤田正治</p>	<p>P27 阿蘇における地震・空振相関解析 横尾亮彦</p>	
<p>P20 融雪型火山泥流における流動開始過程究明のための二次元斜面実験 ○村重慧輝・堤 大三・志田正雄・市田兎太郎・宮田秀介・藤田正治</p>	<p>P28 阿蘇火山における水準測量(2012年9月) ○大倉敬宏・吉川 慎・井上寛之・横尾亮彦・松島 健・藤田詩織・Lawrence C. BANES・山本圭吾・園田忠臣・KUSHENDRATNO・安部祐希・Yayan SOFYAN・諏訪博之・二村忠宏・堀田耕平・佐藤佑輔・高橋温志・宇津木充</p>	<p>E 会場</p>
<p>P21 Laboratory Study about Bed Variation due to the Installation of Spur Dykes with Different Head Shapes ○Amir-Reza MANSOORI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Hao ZHANG</p>	<p>P29 レーザ干渉計型重力勾配計を用いた重力鉛直勾配測定(阿蘇及び桜島火山) ○潮見幸江・鍵山恒臣・Yayan SOFYAN・吉川 慎・山本圭吾</p>	
<p>P22 Mid- to Late Pleistocene Fluvial Incision History in the Active Mountain Belt of Taiwan ○Ching-Ying TSOU・Masahiro CHIGIRA・Yuki MATSUSHI・Su-Chin CHEN</p>	<p>P30 宮崎観測所の観測坑道で得られた伸縮計記録の検討 ○山崎健一・寺石眞弘・小松信太郎</p>	
<p>P23 Numerical Simulation on Deep-Seated Gravitational Slope Deformation in Sedimentary Rocks ○Yanli HOU・Masahiro CHIGIRA</p>	<p>P31 地震予知研究センターの観測室で記録された地殻変動データ ○森井 互・加納康之・寺石眞弘・細 善信</p>	

A 会場	<p>P32 短スパン伸縮計アレイによるスローイベントの検出 ○加納靖之・細 善信・尾上健介・坂 靖範</p>	<p>P41 福島第一原発事故由来の放射性セシウムの信濃川大河津分水河口域への流出 ○石田真展・門馬弘樹・内田百合子・中川亮太・山崎秀夫・東 良慶・関口秀雄</p>
B 会場	<p>P33 短スパン伸縮計の開発 ○細 善信・加納靖之・尾上健介・坂 靖範</p>	<p>P42 設置角度の異なる単独水制周辺の粒度分布変化に関する研究 ○水谷英朗・中川 一・川池健司・張 浩・Quentine LEJEUNE</p>
C 会場	<p>P34 東日本大震災による産業被害の計量化のための方法論 ○多々納裕一・梶谷義雄</p>	<p>P43 都市近郊における大気境界層の観測－接地層における乱流の性状－ ○堀口光章・辰己賢一</p>
C 会場	<p>P35 防災技術情報データベースの国際展開と防災教育への利活用 ○根岸弘明・竹内裕希子・亀田弘行・寶 馨・小林健一郎・賀 斌</p>	<p>P44 気象水文予測情報の利活用促進について ○本間基寛・鈴木 靖・佐藤嘉展</p>
D 会場	<p>P36 Alternative Groyne Designs for Disaster Mitigation and Environment Restoration ○Hao ZHANG・Hajime NAKAGAWA・Masatoshi OGURA・Hideaki MIZUTANI</p>	
D 会場	<p>P37 レーダ雨量を用いた流出シミュレーションと桜島における土石流発生溪流への適用 ○宮田秀介・藤田正治</p>	
E 会場	<p>P38 構造物の存在が土石流発生時に下流の氾濫・堆積に及ぼす影響の検討 ○中谷加奈・増野祐一郎・水山高久・藤田正治</p>	
ポ ス タ ー 	<p>P39 非粘着性材料からなる河川堤防の越流侵食モデルの開発 ○中川 一・水谷英朗・與田敏昭・川池健司・張 浩</p>	
ポ ス タ ー 	<p>P40 田辺中島高潮観測塔における 2012 年夏季観測結果 ○馬場康之・久保輝広・内山雄介・森 信人</p>	



会場へのアクセス



～ 懇親会のご案内 ～

日時：平成 25 年 2 月 20 日（水） 18：00～20：00

場所：宇治生協会館（21 ページの地図をご参考ください）

[教職員・学生の皆さまへ]

懇親会は完全チケット制で事前申し込みが必要です

[連絡先]

京都大学防災研究所広報出版企画室

0774 (38) 4640

e-mail：dpri-ksk@dpri.kyoto-u.ac.jp

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp>